

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道126号 千葉東金自動車道 (東金JCT~松尾横芝)
事業主体	東日本高速道路株式会社

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	費用便益比 (B/C) = 3.1 経済的純現在価値 (B-C) = 4,075億円、 経済的内部収益率 (EIRR) = 12.9%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	一般国道126号 千葉東金自動車道 (東金JCT~松尾横芝) 渋滞損失時間: 5,997千人・時間/年 渋滞損失削減率: 0.1%
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		□ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくは150規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	■ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	都市再生プロジェクト第二次 (H13年8月28日決定) 東京圏における環状道路の整備の推進
■ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する		首都圏整備計画【平成18年9月 国土交通省】 環状交通ネットワークの整備	
□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり			
□ 中心市街地内で行う事業である			
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
1. 活力	都市の再生	□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は10ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	□ 高速自動車国道と並行する自専道 (A'路線) としての位置づけ有り	
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	
		□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	千葉市~樟芝光町 の所要時間 開通前 8分30秒 → 開通後 5分50秒 ⇒ 2.8分短縮
	個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する			
■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される		大炊崎灯台、大炊崎マリパーク、鯉子ボートタワー	
□ 特別立法に基づく事業である			
□ 新規整備の公共施設へ直結する道路である			
		□ 歴史の景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		□ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		□ 市街地又は歴史景観地区 (歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区) の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できる暮らしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	東金IC ~ 総合病院国保旭中央病院 の所要時間 開通前 7分50秒 → 開通後 4分70秒 ⇒ 2.8分短縮	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/万台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、幼児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道126号 代替する区間（松尾横芝～東金）
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量： 約12,451 t/年、排出削減率：0.01%削減
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	NO2排出削減量： 約40t/年、排出削減率：0.01%削減
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	SPM排出削減量： 約3.7t/年、排出削減率：0.02%削減
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のアジェンダとの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道126号 千葉東金道路	東金JCT～ 松尾横芝	L=16km	一般国道	4車線化

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
14,100～15,000	4	東日本高速道路 株式会社

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	1,238億円	311億円	1,549億円
うち残事業分	108億円	77億円	185億円
基準年における 現在価値(C)	1,743億円	227億円	1,970億円
うち残事業分	86億円	24億円	110億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成9年度			
単年便益 (初年便益)	141億円	12億円	6億円	159億円
基準年における 現在価値(B)	5,380億円	449億円	216億円	6,045億円
うち残事業分	202億円	8億円	4億円	213億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	3.1
経済的純現在価値（事業全体）	4,075
経済的内部収益率（事業全体）	12.9%
費用便益比（残事業）	1.9
経済的純現在価値（残事業）	103
経済的内部収益率（残事業）	9.4%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	14,100~15,000	±10%	1.7~2.1
事業費	108億円	±10%	2.1~1.8
事業期間	8年間	±1年	2~2

交通状況の変化（事業全体）

様式－3①

事業名：一般国道126号 千葉東金道路（東金JCT～松尾横芝）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設道路（東金～松尾横芝）：16.1km	交通量 ^{※1}	[台/日]	-	14,600	
	走行時間 ^{※2}	[分]	-	11	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	-	34	
②主な周辺道路 ^{※4}	東関東自動車道：33.8km	交通量	[台/日]	64,900	61,700
		走行時間	[分]	23	23
		走行時間費用	[億円/年]	319	299
	国道126号：18.4km	交通量	[台/日]	23,200	22,200
		走行時間	[分]	56	55
		走行時間費用	[億円/年]	291	277
	国道409号：20.7km	交通量	[台/日]	27,100	26,700
		走行時間	[分]	56	55
		走行時間費用	[億円/年]	373	360
	国道296号：36.5km	交通量	[台/日]	18,400	18,100
		走行時間	[分]	83	82
		走行時間費用	[億円/年]	332	321
	県道30号：飯岡一宮線 23.2km	交通量	[台/日]	9,200	7,000
		走行時間	[分]	31	29
		走行時間費用	[億円/年]	58	43
	県道122号：飯岡片貝線 26.1km	交通量	[台/日]	12,000	10,800
		走行時間	[分]	37	36
		走行時間費用	[億円/年]	95	83
③その他道路合計：26,703.8km	走行時間費用	[億円/年]	180,626	180,532	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：26,878.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	182,094	181,949	145

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名：一般国道126号 千葉東金道路（東金JCT～松尾横芝）



交通状況の変化（残事業）

様式-3①

事業名：一般国道126号 千葉東金道路（東金JCT～松尾横芝）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設道路（東金～松尾横芝）：16.1km	交通量 ^{※1}	[台/日]	13,500	14,600	
	走行時間 ^{※2}	[分]	12	11	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	34	34	
②主な周辺道路 ^{※4}	東関東自動車道：33.8km	交通量	[台/日]	61,900	61,700
		走行時間	[分]	23	23
		走行時間費用	[億円/年]	300	299
	国道126号：18.4km	交通量	[台/日]	22,200	22,200
		走行時間	[分]	55	55
		走行時間費用	[億円/年]	277	277
	国道409号：20.7km	交通量	[台/日]	26,800	26,700
		走行時間	[分]	55	55
		走行時間費用	[億円/年]	362	360
	国道296号：36.5km	交通量	[台/日]	18,100	18,100
		走行時間	[分]	82	82
		走行時間費用	[億円/年]	321	321
	県道30号：23.2km	交通量	[台/日]	7,100	7,000
		走行時間	[分]	29	29
		走行時間費用	[億円/年]	44	43
	県道122号：26.1km	交通量	[台/日]	10,900	10,800
		走行時間	[分]	36	36
		走行時間費用	[億円/年]	84	83
③その他道路合計：26,703.8km	走行時間費用	[億円/年]	180,542	180,532	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：26,878.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	181,963	181,949	14

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名：一般国道126号 千葉東金道路（東金JCT～松尾横芝）



費用便益分析の条件

事業名： 一般国道126号千葉東金道路(東金JCT～松尾横芝)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	H24	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ推計の場合 いずれかのみ推計とした理由を記載	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 配分条件であるQV式に基づく配分交通量(日交通量)の走行速度を採用		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表（事業全体）

				維持管理費の単純単価の算出			
箇所名：一般国道126号千葉東金道路（東金JCT～松尾横芝）				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				-	L=16km	-	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-7年目	H 2	2.3699	115.3	2	4		
-6年目	H 3	2.2788	118.3	6	12		
-5年目	H 4	2.1911	120.0	120	219		
-4年目	H 5	2.1068	120.7	179	312		
-3年目	H 6	2.0258	120.4	163	274		
-2年目	H 7	1.9479	119.5	176	288		
-1年目	H 8	1.8730	119.0	165	260		
暫定供用開始年次	H 9	1.8009	120.0	235	352	5	7
1年目	H 10	1.7317	119.5	15	21	5	7
2年目	H 11	1.6651	117.8	3	4	5	7
3年目	H 12	1.6010	116.5	2	2	5	7
4年目	H 13	1.5395	114.9	1	2	5	7
5年目	H 14	1.4802	112.8	1	1	5	7
6年目	H 15	1.4233	111.2	0	0	5	7
7年目	H 16	1.3686	109.8	0	0	5	7
8年目	H 17	1.3159	108.3	1	1	5	7
9年目	H 18	1.2653	107.3			5	6
10年目	H 19	1.2167	106.1			6	6
11年目	H 20	1.1699	105.2			6	6
12年目	H 21	1.1249	103.9			6	6
13年目	H 22	1.0816	102.0			6	6
14年目	H 23	1.0400	100.0			6	6
15年目	H 24	1.0000	100.0			6	6
16年目	H 25	0.9615	100.0			6	6
17年目	H 26	0.9246	100.0			6	6
18年目	H 27	0.8890	100.0	10	8	6	6
19年目	H 28	0.8548	100.0	29	25	6	6
20年目	H 29	0.8219	100.0	51	42	7	5
21年目	H 30	0.7903	100.0	16	13	7	5
22年目	H 31	0.7599	100.0	31	23	7	5
23年目	H 32	0.7307	100.0	33	24	7	5
完成供用開始年次	H 33	0.7026	100.0			7	5
25年目	H 34	0.6756	100.0			7	5
26年目	H 35	0.6496	100.0			7	4
27年目	H 36	0.6246	100.0			7	4
28年目	H 37	0.6006	100.0			7	4
29年目	H 38	0.5775	100.0			7	4
30年目	H 39	0.5553	100.0			7	4
31年目	H 40	0.5339	100.0			7	4
32年目	H 41	0.5134	100.0			7	3
33年目	H 42	0.4936	100.0			7	3
34年目	H 43	0.4746	100.0			7	3
35年目	H 44	0.4564	100.0			7	3
36年目	H 45	0.4388	100.0			7	3
37年目	H 46	0.4220	100.0			7	3
38年目	H 47	0.4057	100.0			7	3
39年目	H 48	0.3901	100.0			7	3
40年目	H 49	0.3751	100.0			7	2
41年目	H 50	0.3607	100.0			7	2
42年目	H 51	0.3468	100.0			7	2
43年目	H 52	0.3335	100.0			7	2
44年目	H 53	0.3207	100.0			7	2
45年目	H 54	0.3083	100.0			7	2
46年目	H 55	0.2965	100.0			7	2
47年目	H 56	0.2851	100.0			7	2
48年目	H 57	0.2741	100.0			6	2
49年目	H 58	0.2636	100.0	-552	-146	6	2
合計				686	1,743	311	227
単純事業費計				1,238		311	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表（残事業）

維持管理費の単純単価の算出

箇所名：一般国道126号千葉東金道路（東金JCT～松尾横芝）

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	維持管理費の単純単価の算出			
				単価(億円)		単純価値(億円)	
				-	L=16km	-	-
				事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-13年目	H 20	1.1699	105.2				
-12年目	H 21	1.1249	103.9				
-11年目	H 22	1.0816	102.0				
-10年目	H 23	1.0400	100.0				
-9年目	H 24	1.0000	100.0				
-8年目	H 25	0.9615	100.0				
-7年目	H 26	0.9246	100.0				
-6年目	H 27	0.8890	100.0	6	5		
-5年目	H 28	0.8548	100.0	19	16		
-4年目	H 29	0.8219	100.0	32	26		
-3年目	H 30	0.7903	100.0	10	8		
-2年目	H 31	0.7599	100.0	20	15		
-1年目	H 32	0.7307	100.0	21	15		
完成供用開始年次	H 33	0.7026	100.0			2	1
1年目	H 34	0.6756	100.0			2	1
2年目	H 35	0.6496	100.0			2	1
3年目	H 36	0.6246	100.0			2	1
4年目	H 37	0.6006	100.0			2	1
5年目	H 38	0.5775	100.0			2	1
6年目	H 39	0.5553	100.0			2	1
7年目	H 40	0.5339	100.0			2	1
8年目	H 41	0.5134	100.0			2	1
9年目	H 42	0.4936	100.0			2	1
10年目	H 43	0.4746	100.0			2	1
11年目	H 44	0.4564	100.0			2	1
12年目	H 45	0.4388	100.0			2	1
13年目	H 46	0.4220	100.0			2	1
14年目	H 47	0.4057	100.0			2	1
15年目	H 48	0.3901	100.0			2	1
16年目	H 49	0.3751	100.0			2	1
17年目	H 50	0.3607	100.0			2	1
18年目	H 51	0.3468	100.0			2	1
19年目	H 52	0.3335	100.0			2	1
20年目	H 53	0.3207	100.0			2	0
21年目	H 54	0.3083	100.0			2	0
22年目	H 55	0.2965	100.0			2	0
23年目	H 56	0.2851	100.0			2	0
24年目	H 57	0.2741	100.0			2	0
25年目	H 58	0.2636	100.0			2	0
26年目	H 59	0.2534	100.0			2	0
27年目	H 60	0.2437	100.0			2	0
28年目	H 61	0.2343	100.0			2	0
29年目	H 62	0.2253	100.0			2	0
30年目	H 63	0.2166	100.0			2	0
31年目	H 64	0.2083	100.0			2	0
32年目	H 65	0.2003	100.0			2	0
33年目	H 66	0.1926	100.0			2	0
34年目	H 67	0.1852	100.0			2	0
35年目	H 68	0.1780	100.0			2	0
36年目	H 69	0.1712	100.0			2	0
37年目	H 70	0.1646	100.0			2	0
38年目	H 71	0.1583	100.0			2	0
39年目	H 72	0.1522	100.0			2	0
40年目	H 73	0.1463	100.0			2	0
41年目	H 74	0.1407	100.0			2	0
42年目	H 75	0.1353	100.0			2	0
43年目	H 76	0.1301	100.0			2	0
44年目	H 77	0.1251	100.0			2	0
45年目	H 78	0.1203	100.0			2	0
46年目	H 79	0.1157	100.0			2	0
47年目	H 80	0.1112	100.0			2	0
48年目	H 81	0.1069	100.0			2	0
49年目	H 82	0.1028	100.0			2	0
合計				108	86	77	24
単純事業費計				108		77	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名：一般国道126号千葉東金道路（東金JCT～松尾横芝）

年次	年度 (基準年) H24	総走行台キロの年次別伸び率 (関東臨海)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 (1)×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×(2)	③	現在価値 (3)×(A)	便益合計 (1~3)	割引率4%
暫定供用開始年次	H 9	1.03309	0.98088	1.01348	1.01975	1.8009	120.0	88	23	30	141	212	7	2	3	12	18	6	9	159	238
1年目	H 10	1.03203	0.98051	1.01330	1.01937	1.7317	119.5	91	23	30	144	209	7	2	3	12	17	6	8	162	235
2年目	H 11	0.99544	0.98220	0.99846	0.99341	1.6651	117.8	90	23	30	143	202	7	2	3	12	17	6	8	161	227
3年目	H 12	0.99542	0.98188	0.99846	0.99337	1.6010	116.5	90	22	30	142	195	7	1	3	12	16	6	8	160	220
4年目	H 13	0.99540	0.98155	0.99846	0.99332	1.5395	114.9	90	22	30	141	189	7	1	3	12	16	6	8	159	213
5年目	H 14	0.99538	0.98120	0.99846	0.99328	1.4802	112.8	89	21	30	141	184	7	1	3	12	15	6	7	158	207
6年目	H 15	0.99535	0.98084	0.99846	0.99323	1.4233	111.2	89	21	30	140	179	7	1	3	12	15	6	7	157	201
7年目	H 16	0.99533	0.98047	0.99845	0.99319	1.3686	109.8	88	21	30	139	173	7	1	3	12	14	6	7	156	194
8年目	H 17	1.00064	0.99493	1.00856	1.00082	1.3159	108.3	88	20	30	139	169	7	1	3	12	14	6	7	156	190
9年目	H 18	1.00063	0.99491	1.00849	1.00082	1.2653	107.3	88	20	30	139	164	7	1	3	12	14	6	7	156	184
10年目	H 19	1.00063	0.99488	1.00842	1.00082	1.2167	106.1	89	20	31	139	160	7	1	3	12	13	6	6	157	180
11年目	H 20	1.00063	0.99486	1.00835	1.00082	1.1699	105.2	89	20	31	140	155	7	1	3	12	13	6	6	157	174
12年目	H 21	1.00063	0.99483	1.00828	1.00082	1.1249	103.9	89	20	31	140	151	7	1	3	12	13	6	6	157	170
13年目	H 22	1.00063	0.99480	1.00821	1.00082	1.0816	102.0	89	20	31	140	149	7	1	3	12	12	6	6	157	167
14年目	H 23	1.00063	0.99478	1.00815	1.00082	1.0400	100.0	89	20	32	140	146	7	1	3	12	12	6	6	158	164
15年目	H 24	1.00063	0.99475	1.00808	1.00082	1.0000	100.0	89	20	32	140	140	7	1	3	12	12	6	6	158	158
16年目	H 25	1.00063	0.99472	1.00801	1.00082	0.9615	100.0	89	20	32	141	135	7	1	3	12	11	6	5	158	152
17年目	H 26	1.00063	0.99469	1.00795	1.00082	0.9246	100.0	89	20	32	141	130	7	1	3	12	11	6	5	158	146
18年目	H 27	1.00063	0.99466	1.00789	1.00082	0.8890	100.0	89	19	33	141	125	7	1	3	12	10	6	5	159	141
19年目	H 28	1.00063	0.99464	1.00783	1.00081	0.8548	100.0	89	19	33	141	121	7	1	3	12	10	6	5	159	136
20年目	H 29	1.00063	0.99461	1.00777	1.00081	0.8219	100.0	89	19	33	141	116	7	1	3	12	10	6	5	159	131
21年目	H 30	1.00063	0.99458	1.00771	1.00081	0.7903	100.0	89	19	33	142	112	7	1	3	12	9	6	4	159	126
22年目	H 31	1.00063	0.99455	1.00765	1.00081	0.7599	100.0	89	19	34	142	108	7	1	3	12	9	6	4	159	121
23年目	H 32	1.00175	0.99529	1.01063	1.00219	0.7307	100.0	89	19	34	142	104	7	1	3	12	9	6	4	160	117
完成供用開始年次	H 33	1.00175	0.99527	1.01052	1.00219	0.7026	100.0	90	19	34	143	100	7	1	3	12	8	6	4	160	113
25年目	H 34	1.00174	0.99525	1.01041	1.00218	0.6756	100.0	90	19	35	143	97	7	1	3	12	8	6	4	161	109
26年目	H 35	1.00174	0.99523	1.01030	1.00218	0.6496	100.0	90	19	35	144	93	7	1	3	12	8	6	4	161	105
27年目	H 36	1.00174	0.99520	1.01020	1.00217	0.6246	100.0	90	19	35	144	90	7	1	3	12	8	6	4	162	101
28年目	H 37	1.00173	0.99518	1.01009	1.00217	0.6006	100.0	90	18	36	144	87	7	1	4	12	7	6	3	162	98
29年目	H 38	1.00173	0.99516	1.00999	1.00217	0.5775	100.0	90	18	36	145	84	7	1	4	12	7	6	3	163	94
30年目	H 39	1.00173	0.99513	1.00989	1.00216	0.5553	100.0	90	18	37	145	81	7	1	4	12	7	6	3	163	91
31年目	H 40	1.00172	0.99511	1.00980	1.00216	0.5339	100.0	91	18	37	146	78	7	1	4	12	7	6	3	164	87
32年目	H 41	1.00172	0.99509	1.00970	1.00215	0.5134	100.0	91	18	37	146	75	7	1	4	12	6	6	3	164	84
33年目	H 42	0.98976	0.99372	1.00237	0.99259	0.4936	100.0	90	18	37	145	72	7	1	4	12	6	6	3	163	81
34年目	H 43	0.98965	0.99368	1.00236	0.99253	0.4746	100.0	89	18	37	144	68	7	1	4	12	6	6	3	162	77
35年目	H 44	0.98954	0.99364	1.00236	0.99248	0.4564	100.0	88	18	38	143	65	7	1	4	12	6	6	3	161	73
36年目	H 45	0.98943	0.99360	1.00235	0.99242	0.4388	100.0	87	18	38	142	62	7	1	4	12	5	6	2	160	70
37年目	H 46	0.98932	0.99356	1.00234	0.99236	0.4220	100.0	86	18	38	141	60	7	1	4	12	5	6	2	159	67
38年目	H 47	0.98920	0.99352	1.00234	0.99231	0.4057	100.0	85	17	38	140	57	7	1	4	12	5	6	2	158	64
39年目	H 48	0.98909	0.99348	1.00233	0.99225	0.3901	100.0	84	17	38	139	54	7	1	4	12	5	6	2	157	61
40年目	H 49	0.98896	0.99343	1.00233	0.99218	0.3751	100.0	83	17	38	139	52	7	1	4	12	4	5	2	156	58
41年目	H 50	0.98884	0.99339	1.00232	0.99212	0.3607	100.0	82	17	38	138	50	7	1	4	12	4	5	2	155	56
42年目	H 51	0.98872	0.99335	1.00232	0.99206	0.3468	100.0	81	17	38	137	47	7	1	4	12	4	5	2	154	53
43年目	H 52	0.98859	0.99330	1.00231	0.99200	0.3335	100.0	81	17	38	136	45	7	1	4	11	4	5	2	152	51
44年目	H 53	0.98846	0.99326	1.00231	0.99193	0.3207	100.0	80	17	38	135	43	7	1	4	11	4	5	2	151	49
45年目	H 54	0.98832	0.99321	1.00230	0.99187	0.3083	100.0	79	17	38	134	41	6	1	4	11	3	5	2	150	46
46年目	H 55	0.98818	0.99316	1.00230	0.99180	0.2965	100.0	78	17	39	133	39	6	1	4	11	3	5	2	149	44
47年目	H 56	0.98804	0.99312	1.00229	0.99173	0.2851	100.0	77	16	39	132	38	6	1	4	11	3	5	1	148	42
48年目	H 57	0.98790	0.99307	1.00229	0.99166	0.2741	100.0	76	16	39	131	36	6	1	4	11	3	5	1	147	40
49年目	H 58	0.98775	0.99302	1.00228	0.99159	0.2636	100.0	75	16	39	130	34	6	1	4	11	3	5	1	146	38
合計								4,349	947	1,723	7,019	5,380	356	64	169	588	449	280	216	7,887	6,045

便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名：一般国道126号千葉東金道路（東金JCT～松尾横芝）

年次	年度 (基準年) H24	総走行台キロの年次別伸び率 (関東臨海)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 (1)×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×(2)	③	現在価値 (3)×(A)	便益合計 (1~3)	割引率4%	
																						現在価値 (1)×(A)
供用開始年次	H 33	1.00175	0.99527	1.01052	1.00219	0.7026	100.0	10	2	2	14	10	10	0	0	0	1	0	0	0	15	10
1年目	H 34	1.00174	0.99525	1.01041	1.00218	0.6756	100.0	10	2	2	14	9	0	0	0	1	0	0	0	0	15	10
2年目	H 35	1.00174	0.99523	1.01030	1.00218	0.6496	100.0	10	2	2	14	9	0	0	0	1	0	0	0	0	15	10
3年目	H 36	1.00174	0.99520	1.01020	1.00217	0.6246	100.0	10	2	2	14	9	0	0	0	1	0	0	0	0	15	9
4年目	H 37	1.00173	0.99518	1.01009	1.00217	0.6006	100.0	10	2	2	14	8	0	0	0	1	0	0	0	0	15	9
5年目	H 38	1.00173	0.99516	1.00999	1.00217	0.5775	100.0	10	2	2	14	8	0	0	0	1	0	0	0	0	15	9
6年目	H 39	1.00173	0.99513	1.00989	1.00216	0.5553	100.0	10	2	2	14	8	0	0	0	1	0	0	0	0	15	8
7年目	H 40	1.00172	0.99511	1.00980	1.00216	0.5339	100.0	10	2	2	14	7	0	0	0	1	0	0	0	0	15	8
8年目	H 41	1.00172	0.99509	1.00970	1.00215	0.5134	100.0	10	2	2	14	7	0	0	0	1	0	0	0	0	15	8
9年目	H 42	0.98976	0.99372	1.00237	0.99259	0.4936	100.0	10	2	2	14	7	0	0	0	1	0	0	0	0	15	7
10年目	H 43	0.98965	0.99368	1.00236	0.99253	0.4746	100.0	10	2	2	14	7	0	0	0	1	0	0	0	0	15	7
11年目	H 44	0.98954	0.99364	1.00236	0.99248	0.4564	100.0	10	2	2	14	6	0	0	0	1	0	0	0	0	14	7
12年目	H 45	0.98943	0.99360	1.00235	0.99242	0.4388	100.0	9	2	2	14	6	0	0	0	1	0	0	0	0	14	6
13年目	H 46	0.98932	0.99356	1.00234	0.99236	0.4220	100.0	9	2	2	13	6	0	0	0	1	0	0	0	0	14	6
14年目	H 47	0.98920	0.99352	1.00234	0.99231	0.4057	100.0	9	2	2	13	5	0	0	0	1	0	0	0	0	14	6
15年目	H 48	0.98909	0.99348	1.00233	0.99225	0.3901	100.0	9	2	2	13	5	0	0	0	1	0	0	0	0	14	5
16年目	H 49	0.98896	0.99343	1.00233	0.99218	0.3751	100.0	9	2	2	13	5	0	0	0	1	0	0	0	0	14	5
17年目	H 50	0.98884	0.99339	1.00232	0.99212	0.3607	100.0	9	2	2	13	5	0	0	0	0	0	0	0	0	14	5
18年目	H 51	0.98872	0.99335	1.00232	0.99206	0.3468	100.0	9	2	2	13	4	0	0	0	0	0	0	0	0	14	5
19年目	H 52	0.98859	0.99330	1.00231	0.99200	0.3335	100.0	9	2	2	13	4	0	0	0	0	0	0	0	0	14	5
20年目	H 53	0.98846	0.99326	1.00231	0.99193	0.3207	100.0	9	2	2	13	4	0	0	0	0	0	0	0	0	13	4
21年目	H 54	0.98832	0.99321	1.00230	0.99187	0.3083	100.0	9	2	2	13	4	0	0	0	0	0	0	0	0	13	4
22年目	H 55	0.98818	0.99316	1.00230	0.99180	0.2965	100.0	8	2	2	12	4	0	0	0	0	0	0	0	0	13	4
23年目	H 56	0.98804	0.99312	1.00229	0.99173	0.2851	100.0	8	2	2	12	4	0	0	0	0	0	0	0	0	13	4
24年目	H 57	0.98790	0.99307	1.00229	0.99166	0.2741	100.0	8	2	2	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	13	4
25年目	H 58	0.98775	0.99302	1.00228	0.99159	0.2636	100.0	8	2	2	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	13	3
26年目	H 59	0.98760	0.99297	1.00227	0.99152	0.2534	100.0	8	2	2	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	13	3
27年目	H 60	0.98744	0.99292	1.00227	0.99145	0.2437	100.0	8	2	2	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	13	3
28年目	H 61	0.98728	0.99287	1.00226	0.99138	0.2343	100.0	8	2	2	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	13	3
29年目	H 62	0.98712	0.99282	1.00226	0.99130	0.2253	100.0	8	2	2	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	12	3
30年目	H 63	0.98695	0.99277	1.00225	0.99122	0.2166	100.0	8	2	2	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	12	3
31年目	H 64	0.98678	0.99272	1.00225	0.99115	0.2083	100.0	8	2	2	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12	3
32年目	H 65	0.98660	0.99266	1.00224	0.99107	0.2003	100.0	7	2	2	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2
33年目	H 66	0.98642	0.99261	1.00224	0.99099	0.1926	100.0	7	2	2	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2
34年目	H 67	0.98623	0.99255	1.00223	0.99090	0.1852	100.0	7	2	2	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2
35年目	H 68	0.98604	0.99250	1.00223	0.99082	0.1780	100.0	7	2	2	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2
36年目	H 69	0.98584	0.99244	1.00222	0.99074	0.1712	100.0	7	2	2	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2
37年目	H 70	0.98564	0.99238	1.00222	0.99065	0.1646	100.0	7	2	2	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	11	2
38年目	H 71	0.98543	0.99232	1.00221	0.99056	0.1583	100.0	7	2	2	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	11	2
39年目	H 72	0.98521	0.99226	1.00221	0.99047	0.1522	100.0	7	2	2	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	11	2
40年目	H 73	0.98499	0.99220	1.00220	0.99038	0.1463	100.0	7	2	2	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	11	2
41年目	H 74	0.98476	0.99214	1.00220	0.99029	0.1407	100.0	7	2	2	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	2
42年目	H 75	0.98453	0.99208	1.00220	0.99019	0.1353	100.0	6	2	2	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1
43年目	H 76	0.98428	0.99202	1.00219	0.99009	0.1301	100.0	6	2	2	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1
44年目	H 77	0.98403	0.99195	1.00219	0.98999	0.1251	100.0	6	2	2	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1
45年目	H 78	0.98377	0.99189	1.00218	0.98989	0.1203	100.0	6	2	2	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1
46年目	H 79	0.98351	0.99182	1.00218	0.98979	0.1157	100.0	6	2	2	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1
47年目	H 80	0.98323	0.99175	1.00217	0.98968	0.1112	100.0	6	2	2	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1
48年目	H 81	0.98294	0.99169	1.00217	0.98958	0.1069	100.0	6	2	2	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1
49年目	H 82	0.98265	0.99162	1.00216	0.98947	0.1028	100.0	6	2	2	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1
合計								406	98	103	606	202	15	3	5	23	8	11	4	641	213	